

東南アジアの土地制度と農業変化

梅原弘光編

東南アジアの土地制度と農業変化

梅原弘光編

アジア経済研究所

研究双書No.406

梅原弘光編『東南アジアの土地制度と農業変化』

英文表題および目次

Title

Tonan-Azia-no Tochiseido to Nogyo-henka
(Land Tenure and Agricultural Change in Southeast Asia)

Edited by

Hiromitsu UMEHARA

Contents

Part I

Agrarian Reform and Owner Cultivatorship

- Chapter 1 The Philippines' Agrarian Reform Program under the Aquino Government ; Planning Process and Characteristics (Tsutomu TAKIGAWA)
- Chapter 2 Agrarian Reform and the Legislation of Agricultural Land Law in Japan after World War II; on the Principle of Superiority of Owner-farmers (Manabu TANAKA)
- Chapter 3 Changing Status of Settlers Landownership ; from Owner-operators to Estate Labourers in FELDA and FELCRA Scheme (Kenzo HORII)

Part II

Present System of Land Tenure

- Chapter 4 Land Tenure and Local Administration in Konbaung Burma (Teruko SAITO)
- Chapter 5 Land Tenure and Agricultural Products Sale in an Irrigated Rice Village in Upper Burma ; Comparison with a Village in Lower Burma (Akio TAKAHASHI)
- Chapter 6 Land Tenure and Technological Innovation in Thai Rice Villages ; a Comparative Analysis of Three Villages (Akimi FUJIMOTO)

Part III

Changes in Land Tenure System

- Chapter 7 Land and Labour in an East Java Village ; the Case of Pagelaran (Hiroyoshi KANO)
- Chapter 8 Right of Land Ownership and Documents to Certify Its Right in Rural West Java (Kosuke MIZUNO)
- Chapter 9 Agricultural Commercialization and Land Tenure in the Philippines (Hiromitsu UMEHARA)

(Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 406)

Published by the Institute of Developing Economies, 1991
42 Ichigaya-Hommura-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan

東南アジアの土地制度と農業変化

- たきがわ つとむ
滝川 勉 (日本大学農獣医学部教授)
- たなか まなぶ
田中 学 (東京大学農学部教授)
- ほり いけんぞう
堀井健三 (大東文化大学国際関係学部教授)
- さいとうてるこ
齋藤照子 (東京外国語大学助教授)
- たかはしあきお
高橋昭雄 (アジア経済研究所地域研究部)
- ふじもとあきみ
藤本彰三 (東京農業大学総合研究所助教授)
- かのうひろよし
加納啓良 (東京大学東洋文化研究所助教授)
- みずのこうすけ
水野広祐 (アジア経済研究所地域研究部)
- うめはらひろみつ
梅原弘光 (立教大学文学部教授)

— 執筆順 —

東南アジアの土地制度と農業変化

研究双書406

1991年2月14日発行©

編者 梅原弘光

発行所 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)4231(代)

印刷所 勝美印刷株式会社

ISBN4-258-04406-7 C3033



目 次

まえがき

第1部 農地改革と自作農主義

第1章 フィリピンにおけるアキノ政権下の農地改革

——経過と問題点——	滝川 勉	5
はじめに		5
第1節 包括的農地改革法制定への経過		5
第2節 包括的農地改革法の主要内容		18
第3節 問題の諸相		25
むすびにかえて		31

第2章 日本における農地改革と農地法の成立

——いわゆる自作農主義について——	田中 学	37
はじめに		37
第1節 農地改革とその理念		39
第2節 農地改革から農地法の成立へ		51
むすび——農地法体制の矛盾——		55

第3章 マレーシアにおける集団入植地法の成立・展開 と土地所有権の変容

——自作農創設から農園労働者創設へ——	堀井 健三	59
---------------------	-------	----

はじめに	59
第1節 土地開発法（1956年）制定の背景	62
第2節 初期FELDA（1956～60年）計画の発足と挫折	64
第3節 集団入植地法（1960年）実施の背景と実態 ——二つの目的——	67
第4節 FELDAの再編 ——入植者管理の強化と私的土地所有権の形骸化——	74
第5節 FELCRA ——計画の目的と展開——	78
第6節 クラントン州入植計画の特徴	94
第7節 FELDAの新展開 ——入植者の二つの途：土地所有権の復活と入植地の民営化——	97
むすびにかえて	101

第2部 土地制度の実態

第4章 コンバウン朝ビルマの土地保有制度と社会構成 ——財源調書（シッターン）の分析を中心に——…斎藤 照子…	107
第1節 問題の所在と限定	107
第2節 コンバウン期・ビルマ社会の性格をめぐる研究史	109
第3節 コンバウン時代の地方社会，ミョウ研究の前提	113
第4節 コンバウン時代のミョウ，その性格	120
むすびにかえて	133
資料 財源調査（シッターン）	138
第5章 上ビルマ灌漑村における農地保有と農産物の商品化 ——下ビルマ農村との比較——	149

はじめに	149
第1節 調査村の概況	151
第2節 水田耕作権保有の実態	157
第3節 農産物の商品化	168
むすびにかえて	180
第6章 タイ稲作農村における土地制度と技術革新	
——3地域の比較分析——	藤本 彰三…189
はじめに	189
第1節 調査方法および調査地の概要	190
第2節 土地所有関係	195
第3節 小作制度の実態	202
第4節 土地制度と技術革新との関連性	210
むすびにかえて	219
第3部 土地制度の変化	
第7章 東部ジャワ農村の土地と労働	
——パグララン村再調査から——	加納 啓良…227
はじめに	227
第1節 調査村の概要と調査の方法	229
第2節 人口と農業外就業構造の変化	231
第3節 労働力移動	234
第4節 農地の所有と支配	236
第5節 調査村におけるクドカン制の特徴	239
第6節 稲作の生産費構成	242
第7節 砂糖きび作における賃労働制と生産費の構成	244

むすびにかえて	248
---------------	-----

第8章 西ジャワ農村における土地所有権の確認書類

保有状況	水野 広祐…251
はじめに	251
第1節 近代的土地所有権の確立と土地登記制度の展開	254
第2節 インドネシア人の土地の地籍調査事業と地税課税抄書	264
第3節 西ジャワ農村における土地権確認書類	272
第4節 土地権確認書と農村諸階層	287
むすびにかえて	299

第9章 フィリピンの農業商業化と土地制度の変化……梅原 弘光…309

はじめに	309
第1節 伝統農業と土地制度	310
第2節 近代化政策と農業変化	321
第3節 土地制度の地域変化	326
むすびにかえて	339